

農業法人で良かった!!

株式会社かまくらや

生産GR係長 長岩佑弥

自己紹介

- 30歳
- 長野県松本市出身
- 2014年入社（10年目）
 - * 社歴が一番長い
 - * 新卒第1号
- 趣味はドライブ、サッカー



かまくらやの概要

地元産そば粉を使用した「**本物の信州そば**」を作ることを目的に、平成21年に設立されました。

農業を主軸にした生産・加工・販売（6次産業化）を行う会社。

【会社所在地】	松本市 島立454-1
【従業員数】	32名
【作物】	そば・大豆・りんご・ジュース用トマト・その他
【耕作地域】	安曇野市（三郷） 松本市（四賀・岡田・梓川）
【経営面積】	220ha
【売上】	2億6千万円



農業(1次産業)

- ・耕作放棄地活用でそば生産を中心に規模拡大 自社で開墾・再生へ
- ・転機は地元農業委員の協力「**どんな農地も、断らない姿勢**」

長野県最大のそば・ジュース用トマト栽培法人

・そば 2023年 作付け面積 120ha×2期作

生産量 210 t

・ジュース用トマト

2023年 作付け面積 9ha

生産量 500 t



その他の作物

- ・大豆 (45ha) ・麦 (13ha)
- ・りんご (1.5ha) ・野沢菜 (7ha) ・たまねぎ (1.5ha)

2次産業



加工

生産物を使って加工品を製造

加工（2次産業）



- ・ 自社栽培の玄そばを自社製粉して販売
- ・ 自社製粉のそば粉を使用した蕎麦かりんとうの製造



3次産業



販売・宿泊・飲食など
加工品を販売

販売（3次産業）



- ・ 自社生産・自社製粉したそば粉・農産物を、
直営店で販売（お土産・蕎麦屋）



農業法人に就農するまでの経緯

・普通高校卒業後、長野県農業大学校へ進学

👉 この時はまだ何の仕事がしたいか考えていない

農業大学校で農業を学ぶ中で・・・

- ・穀物を主に学び、農業機械の運転に興味湧く(ワクワク笑)
- ・大型トラクター、コンバインに乗れる農業法人に就農したい！
- ・ルーチンワークはしたくない、デスクワークもしたくない！
- ・地元で農業に関わり、休みの取れる農業法人に就農したい！

地元の就職説明会で(株)かまくらやにめぐり逢い、

就農を決める！

私の役割 (生産GR係長として)

- 生産計画（栽培面積や費用、利益計画）の立案
- 作業計画（年間・月間・週間・日々）の立案
- 栽培管理（担当作物の栽培管理）
- 作業オペレーターの教育、育成

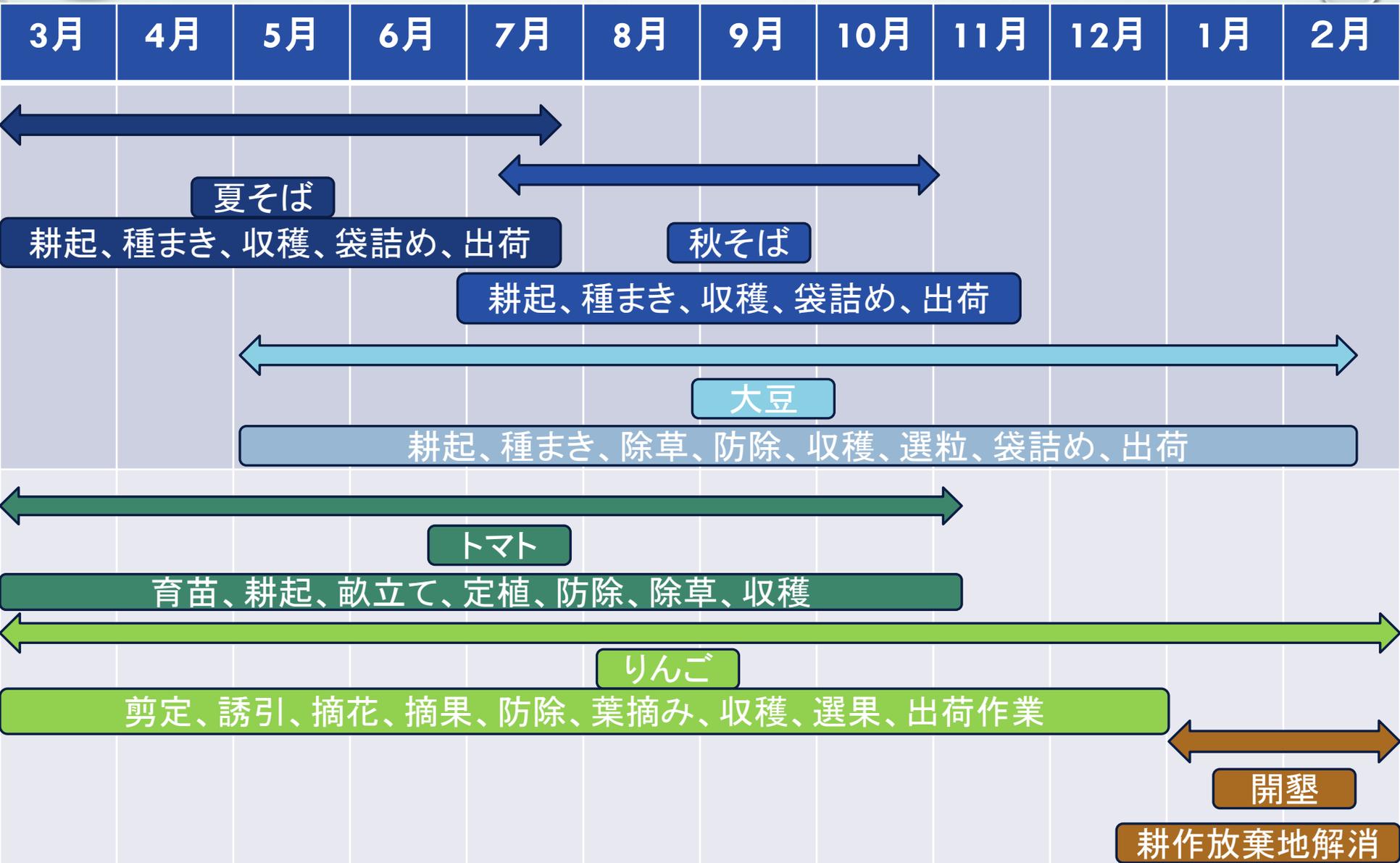
（誰からも憧れられるオペレーター技術で目標になれる存在）

*** 機械に乗りながら常にメンバーの状況を把握し、フォロー**

*** 大変な時でも自分は明るく元気にコミュニケーション！**

メンバーの気持ち前向きになるように！

年間スケジュール



実際に農業法人で働いてみて・・・

想像通りだったこと・・・（想像以上かも!!）

- ・大型機械に乗って作業ができる（自分では買えないような）
- ・年間休日が定まっているので休みが計画的に取得しやすい
- ・開放感ある屋外作業、地域の方々と密接に関われる
- ・昨日と同じ作業でも畑の状態は日々変わる楽しさ

想像していなかったこと・・・

- ・事務作業やチーム（部下）をまとめることが大変
- ・農業以外の知識も必要になってきている（最近）

実際に農業法人で働いてみて・・・

- ・農業（穀物・果樹）は年に一度しか収穫できない
＝一つの作物で年に一度しか収入が無い

*** ほとんどやり直しが出来ない一発勝負の世界**

- ・毎年同じやり方ではうまくいかない自然相手の現実
- ・日々状況に応じて臨機応変に対応し決断するプレッシャー

*** 様々な状況を仲間と相談しながら判断し、**

仲間と共に目標に向かう仕事

日々変化する農業の面白さ!!

**仲間と一緒に目標に向かい、
成果が得られた時の高揚感が最高!!**



農業法人で働きたい皆さんへ

農業で働くといっても働き方はそれぞれ!!

自分はどう働きたいかをしっかりと考えて

自分に合う働き方を選択していただければ嬉しいです

松本市 かまくらや

主な作物 ソバ・ジュース用トマト

ながわ ゆうや
長岩 佑弥さん | 29さい

松本市出身



経歴

- 高校(普通科)
- ↓
- 長野県農業大学校
- ↓
- かまくらや
- 就農 10年目

農業を目指した理由は？

もともと外仕事がしたくて、将来を考えた時に農業なら自分にとって生き力になるし、地域にも貢献できると思いました。車や機械が好きだったこともありますね。かまくらやは、地元で、しかも会社として大規模農業をしている点が魅力でした。かまくらやの新卒採用第1号なので社歴は誰よりも長いです。

農業の魅力・やりがいは？

農作物は毎年同じようには育たないので、毎年1年生の気持ちです。難しい反面、「こんなやり方をしてみよう」と自分で考え、行動できることが面白いです。かまくらやに農地を貸したいというご依頼は年々増えていて、荒れていた農地をよみがえらせ、地域の景観がよくなったり、喜んでもらえたりするのがうれしいです。

大変なことは？

基本的に楽な作業はなくて、特に種まきと収穫が大変です。やり直しができない一発勝負のようなところがあり、決まった期間で作業を終わらせなければならぬのでプレッシャーがありますね。そんな中でも「この作業を何分で終わらせるぞ!」と目標を立てクリアするのを楽しんだり、「ボジティブに」を常に意識しています。



耕作放棄地をよみがえらせながら、大型機械やGPSと連動した農地管理によって大規模農業をしています。



日報もオンラインで管理。昼礼・夕礼で日々のコミュニケーションも大切にしています。

係長としてチームワークを重視。地域の耕作放棄地0が目標です!



長岩さんの1日のスケジュール

23:00 睡眠

6:00 朝礼

8:00 8:30 仕事

12:00 昼休み

13:00 仕事

16:50 17:00 終社

18:00 自由時間

point 1年を通じて働く時間は同じです。忙しい時期でも最低週休1日、それ以外は週休2日で、特に1月は交代で月の半分の日数休めます。

> こんな風に働いています!

ソバチームの係長をしています。1年のうち8割は農業機械に乗って、一日中畑を耕したり種をまいたり、収穫作業をしています。冬の間に年間の栽培計画を立て、それをもとに誰がいつ、どんな作業をするか計画を立てます。

かまくらやはチーム農業。まずは自分自身が常に笑顔でいることを心がけています。オンラインで後輩の日報をチェックしたり、自分から話しかけて、困っていることがないか確認したり、アドバイスをしたりして若手の育成にも力を入れています。

機械の手入れも大事な仕事。機械が壊れたら作業ができないので、大切に使い、修理も自分でやります。農大で取得した資格が役立っています。

経営者からメッセージ

- 社員数は32人。思いやりがあり、協力して仕事に取り組んでいます。長岩さんはみんなを引っ張ってくれています。
- 一人一人が「会社の顔」となって、地域の方々と信頼関係を築いてくれています。
- 労働環境をさらに整え、男女問わず定年まで安心して働いてもらいたいです。そして若い力で地域を盛り上げてほしいです!



代表取締役 藤本孝介さん

株式会社かまくらや

松本市島立454-1 TEL. 0263-87-7101

地域の遊休農地を活用し、地域が必要とされる農産物を「サラリーマン農業」で安定供給する。安曇野市、松本市の広域に畑があり、ソバ、ジュース用トマトの生産量は長野県最大規模。自社で栽培・加工・販売まで行い、松本市の近くで土産物店とそば店の直営店を2店舗運営。



HP



Instagram